

4. 居場所の外側と連携するヒント - 親の悩みを受けとめる

一般社団法人子どものエンパワメントいわて

【事例】被災した子育て世代へのサポートとして、定期的研修の開催を受けた「受け手」が、電話で悩み相談を行い、お話を受け止め、気持ちが高くなる支援をしている。

→子ども向けの居場所のみでなく、社会的な深刻な困難を抱えている親が安心して相談できる仕組みの連動。

→電話の内容によっては関係支援機関につなぐなど、外の資源と連携し、多方面からの問題解決に取り組むことで、子どものサポートにつなげていく工夫。

